

口もと美人！できあがり！

3年前の自分は、どんなだったか、今では想像できないくらいです。矯正の装具を外した私の歯は、「これが私の歯か？」と思うほど、入れ歯のように美しい歯並びでした。長かった3年間で報われた瞬間でした。

数年前より私の口の中は、上顎の裏側が荒れるようになっていました。外見上は目立ちませんが、いわゆる出っ歯、隠れ出っ歯で、噛むことで、下の歯が上の歯の根元を削ってしまう状況でした。

虫歯を直すために受信したさくら歯科でしたが、院長先生から「かみ合わせを直せば治ります。かみ合わせを直すしかないですね。」「それって、矯正ってことですか？」矯正といえば・・・あの金具を付けた、笑うとロボットみたいな口・・・。「先生、私、もう五十路過ぎているし、この年で、いまさら矯正もなにも・・・。」「今、人生80年でしょう。これからの人生、自分の歯があるかないかは大きく違います。自分の歯で過ごせるかどうかは、大事なことです。それに、この状態で歯が抜け、入れ歯を作っても出っ歯の入れ歯になり、役に立ちませんよ。」私の頭には、出っ歯の入れ歯の自分が想像されました。「一度専門医の田中先生の話聞いてみてから決めてもらってもいいですし・・・。」そして、田中先生との出会いでした。

田中先生の説得力のあるお話で矯正を決意しました。本当の意味で腹が座ったのは、歯を2本抜いてからでした。もう後戻りできない。抜いた歯は、戻らない・・・。

矯正では3つの問題がありました。

一つは、金銭の問題です。100万円ちかいお金はやっぱり、ひと決心必要な金額です。ちょうどその頃、70代の先輩がインプラントを行い、100万円かかったということを知っていました。自分の歯があるのなら、それに100万円かける方を私は選択しよう!!

二つ目は、治療期間が3年ということです。3年は、長い!!こんなに耐えられるだろうか。今まで、1年に1度くらいの歯科受診しかしていなかった私ですので、毎月の受診は大変でした。身体（歯）が資本です。健康のためならと、仕事の調整をし、受診しました。

三つ目は、口内炎です。矯正は異物が口に入り、口内炎は必発です。歯科衛生士さんの指導を受け、ブラッシング、緩衝材を上手に使うこと、口内炎の薬（市販）を塗ったり、ひどい時は痛み止めを使ったりとありとあらゆる手段をとりました。口の中は、意外と柔軟で、時期が来ると異物に慣れ、順応する器官だということをも身をもって体験しました。矯正を始めて心身共に慣れるまで、3ヶ月かかりました。

その他、小さいハプニングはありましたが、先生やスタッフの皆さんのおかげで、今日を迎えることができました。また、矯正の経験談（手記や手紙）は、辛くなったとき、前向きに取り組む力になりました。本当にお世話になりました。そしてありがとうございました。